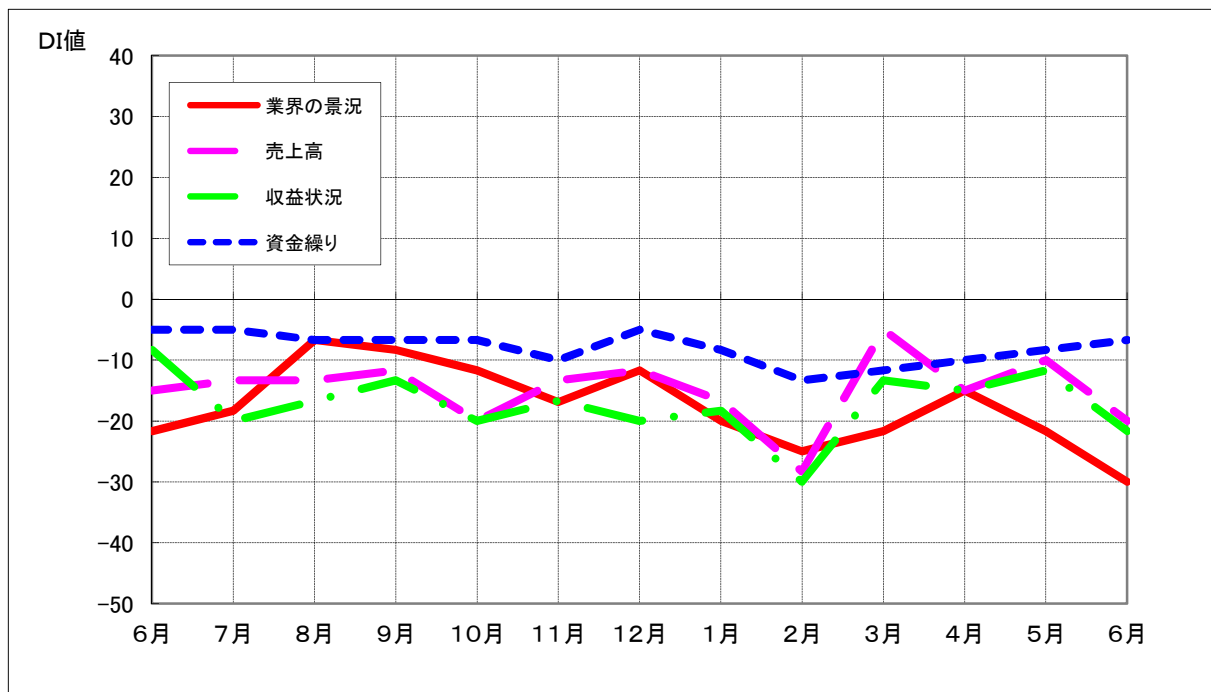


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成29年6月～平成30年6月

単位:ポイント



	H29						H30						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
業界の景況	-21.7	-18.3	-6.7	-8.3	-11.7	-16.9	-11.7	-20.0	-25.0	-21.7	-15.0	-21.7	-30.0
売上高	-15.0	-13.3	-13.3	-11.7	-20.0	-13.3	-11.7	-16.7	-28.3	-5.0	-15.0	-10.0	-20.0
収益状況	-8.3	-20.0	-16.7	-13.3	-20.0	-16.7	-20.0	-18.3	-30.0	-13.3	-15.0	-11.7	-21.7
資金繰り	-5.0	-5.0	-6.7	-6.7	-6.7	-10.0	-5.0	-8.3	-13.3	-11.7	-10.0	-8.3	-6.7

6月のDI値は前月と比べ、1項目改善、3項目悪化となった。「資金繰り」DI値は1.6ポイント改善。「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は10ポイント、「収益状況」DI値は10ポイントそれぞれ悪化した。

前年同月比では全項目悪化し、「業界の景況」DI値は8.3ポイント、「売上高」DI値は5ポイント、「収益状況」DI値は13.4ポイント、「資金繰り」DI値は1.7ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、製造業において原料高騰・人材不足が継続しているとの報告が寄せられている。非製造業においては全体的に例年通りとの報告が多く、売上・受注量の回復は未だ見られない。

組合の特記事項では、製造業において、原料の高騰・人材不足の状況は変わらず、事業者の頭を悩ませている。消費者の需要拡大のための商品開発・販路拡大、積極的な人材確保は製造業共通の課題である。非製造業では、全体的には例年並みとの報告が多かったが、上越地区の小売業・商店街は売上を伸ばした。新たに水族館がオープンしたことにより、人の流れが活発化したことが要因だと思われる。